

## 第1回 地方自治

### 1 地方自治と地方公共団体

- 住民が地域の政治を自分たちの手で行うことを\_\_\_\_\_という。
- 地方自治を行う都道府県や市町村を\_\_\_\_\_（\_\_\_\_\_）という。
- 国の省庁では、\_\_\_\_\_が地方自治に関する仕事を担当する。
- 地方自治は日本国憲法で定められており、1947年に制定された\_\_\_\_\_は地方公共団体のしくみや住民の権利について規定されている。

### 2 地方公共団体の仕事

\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、  
\_\_\_\_\_など住民の生活に関係の深い仕事を行う。

### 3 地方公共団体のしくみ

- 各地方公共団体の行政の最高責任者を\_\_\_\_\_という。都道府県の首長を\_\_\_\_\_、市町村の首長を\_\_\_\_\_と呼ぶ。
- 地方議会は、\_\_\_\_\_の制定・改正・<sup>はいし</sup>廃止、予算の議決などを行う。
- 地方議会の議員は住民の選挙で選ばれる。議員には満\_\_\_\_\_歳以上の人が立候補できる。
- 地方議会は首長の\_\_\_\_\_を、首長は\_\_\_\_\_の\_\_\_\_\_を行うことができる。

### 4 地方公共団体と住民

- 地方公共団体の住民は、満\_\_\_\_\_歳以上で首長や議員を選ぶための選挙権が認められる。
- 都道府県知事には満\_\_\_\_\_以上、市町村長には満\_\_\_\_\_歳以上の人が立候補でき（被選挙権が得られる）、住民が選挙で選ぶ。

## 5 これからの地方自治体

- 国と地方公共団体が仕事や権限を分担する仕組みを\_\_\_\_\_という。
- 1999年に\_\_\_\_\_が制定されたほか、地方自治法も大きく改正された。
- 地方公共団体の収入不足を改善し、行政の効率よくすることを目的に、周辺の市町村が一つになる\_\_\_\_\_が行われている。
- 地方分権の流れの中で1999年から始まった合併は「\_\_\_\_\_」といわれる。

## 第2回 財政と税金

### 1 財政ってなんだろう？

- 国・地方公共団体が税金などを集め、これをもとに公共の仕事を行うことを\_\_\_\_\_という。
- 国の財政に関する仕事はおもに\_\_\_\_\_が担当する。
- 年度ごとにつくられる、一年間の収入( )と支出( )の計画を\_\_\_\_\_という。
- 財政には、公共の仕事を行う、国民の収入を調整する、景気を調整するという3つのはたらきがある。

### 2 財政の内訳<sup>うちわけ</sup>

- 財政には、国の財政( )と地方公共団体の財政( )がある。
- 国家財政の歳入の多くは、国民からの税金( )と印紙収入からなり、残りは公債<sup>こうさい</sup>金( )からなる。
- 国家財政の歳出は、\_\_\_\_\_、国債費、地方交付税交付金などが多い。このうち、最も割合が高い\_\_\_\_\_は、国民の最低限の生活を国が保障するための費用である。
- 地方財政の歳入の多くは、\_\_\_\_\_である。国からは\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_が支給される。ほかに\_\_\_\_\_がある。
- 地方財政の歳出は、\_\_\_\_\_費、\_\_\_\_\_費、\_\_\_\_\_費、\_\_\_\_\_費などである。

### 3 さまざまな税金

- 国に納める税金のことを\_\_\_\_\_、地方公共団体に納める税金のことを\_\_\_\_\_という。
- 税を負担する者と納める者が同じ税金を\_\_\_\_\_、異なる税金のことを\_\_\_\_\_
- 国税の直接税には、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_などがある。

- 国税の間接税には、\_\_\_\_\_などがある。
- 地方税の直接税には、\_\_\_\_\_などがある。

#### 4 これからの日本の財政

- 歳出が歳入を上回り、お金が不足する財政の状態を\_\_\_\_\_という。
- 収入に見合った支出をする健全な財政立て直しを\_\_\_\_\_という。
- 地方公共団体が集め、自由に使える地方税を\_\_\_\_\_という。
- 1990年代以降、不景気で税収が減ったことから、国では\_\_\_\_\_が続き、地方では\_\_\_\_\_が少なくなり、国債や地方債が増えていることが問題になっている。

### 第3回 社会保障

#### 1 社会保障ってなんだろう？

- 国が生活を保障するしくみを\_\_\_\_\_という。
- 日本国憲法第25条で、国民は人間らしい豊かな生活を営む権利（健康で文化的な最低限の生活を営む権利）である\_\_\_\_\_を保障している。
- 社会保障制度は生存権をもとに整えられている。国の省庁では、\_\_\_\_\_が担当する。
- 日本では急速に\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_が進んでいる。このような社会変化の中では社会保障の役割はますます大きくなっている。
- 社会保障は\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_がある。

#### 2 社会保険

- \_\_\_\_\_は、国民から保険料を集めてお金やサービスを支給する制度である。\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_がある。

#### 3 社会福祉

- \_\_\_\_\_は、児童、高齢者など自立が難しい人々を助ける施設やサービスを提供する制度である。\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_、\_\_\_\_\_がある。
- 自主的に活動する\_\_\_\_\_の人々や、利益を目的としないで活動する\_\_\_\_\_（\_\_\_\_\_）や、盲導犬などの\_\_\_\_\_も社会福祉を支えている。

#### 4 公衆衛生・公的扶助

- \_\_\_\_\_は、国民の健康を守るために\_\_\_\_\_の予防・対策、食品衛生の管理などを行う制度である。各地の\_\_\_\_\_が中心となっていく。\_\_\_\_\_の整備や、\_\_\_\_\_処理なども含む。
- \_\_\_\_\_は、収入の少ない人に対して、お金をだして生活を助ける制度である。なかでも生活費などを支給する制度を\_\_\_\_\_という。

#### 5 日本の社会保障制度の問題点

- 現在の日本は、\_\_\_\_\_が進み、財政にしめる社会保障関係費が増え、\_\_\_\_\_にともない若い世代の人々が減っていることを背景に、国民一人当たりの負担をどうするかが、課題となっている。